

令和6年度 全国山岳遭難対策協議会開催要項

1 趣 旨

登山における遭難事故を防止するため、山岳関係者や山岳遭難対策関係者の参加を求め、山岳遭難の原因等について研究協議し、今後の遭難対策の具体的施策に役立てる。

2 主 催 スポーツ庁

共 催 環境省、警察庁、気象庁、消防庁、公益社団法人日本山岳・スポーツクライミング協会、独立行政法人日本スポーツ振興センター国立登山研修所、山岳遭難対策中央協議会

3 期 日 令和6年7月12日（金）

4 会 場 文部科学省 3階講堂 及び オンライン開催 〒100-8959 東京都千代田区霞が関3-2-2 電 話 03-5253-4111 [内線2685] ※オンライン参加のURLは、別途連絡

5 参加者 会場定員：350名程度（オンライン参加定員は上限を特に設けない）

- (1) 各都道府県教育委員会の関係者
- (2) 高等学校登山部(山岳部)、高等専門学校山岳部、大学山岳部の関係者（顧問、監督、コーチ等）
- (3) 各都道府県山岳遭難救助組織(都道府県遭難対策協議会、警察、消防防災、自然公園保護等)の関係者、各都道府県山岳連盟(協会)の関係者
- (4) 山岳ガイド、山小屋の関係者、旅行会社等のツアー登山関係者、メディア関係者、登山道具製造業関係者、登山道具小売業関係者
- (5) その他山岳団体関係者

6 内容

9:30 ~	受付	
10:00 ~10:10	開会式	
10:15 ~10:45 (30分)	報告Ⅰ	「令和5年における山岳遭難の概況等について」 警察庁生活安全局生活安全企画課地域警察指導室 課長補佐 堀池 秀樹氏
10:45 ~11:25 (40分)	報告Ⅱ	「中低山域での活動モデル」 大津市消防局 消防総務課・企画広報係 係長 山本 啓二氏
11:25 ~12:10 (45分)	講演	「日本雪崩捜索救助協議会について (仮称)」 日本雪崩捜索救助協議会/日本雪崩ネットワーク 理事 出川 あずさ氏
12:10 ~13:10 (60分)	昼休憩	
13:10~16:20 (190分)		「外国人登山者から考える日本の現遭難 ～リスクマネジメント教育と啓発～」
13:10 ~13:30 (20分)	講義	「全体導入」 講師：村越 真氏 (静岡大学教授)
13:30 ~14:00 (30分)	講演①	「外国人登山者の行動特性と受け入れの課題」 講師：佐藤 大輔氏 (筑波大学大学院)
14:00 ~14:30 (30分)	講演②	「ロングトレイルの利活用の促進とインバウンドによる利用状況について」 説明者：環境省自然環境局国立公園利用推進室
14:30 ~15:00 (30分)	講演③	「国際ハイキング資格の取組と課題」 講師：飯田 千香子氏 (日本山岳ガイド協会)
15:00 ~15:10 (10分)	小休憩	
15:10 ~15:25 (15分)	ワークショップ形式	「問題提起」 講師：村越 真氏 (静岡大学教授)
15:25 ~15:30 (5分)		会場セッティング
15:30 ~16:10 (40分)	ディスカッション形式	「ワークショップで出された問題を、パネラーが考察」 講師：村越 真氏 (静岡大学教授)
16:10 ~16:20 (10分)		まとめ、講評等 講師：村越 真氏 (静岡大学教授)
16:20 ~16:35	閉会式	

※講演者・内容は変更となる可能性もあります。

7 申し込み

以下のリンクから必要事項を記入の上、令和6年7月3日(水)までに申し込むこと。

<https://forms.office.com/r/OU3WfBYLT3>

※ページ下部の「送信」ボタンを押すと、「申込が完了しました」の画面が表示されます。

なお、**申込完了メールはシステム上で送信されません**ので、あらかじめ御了承ください。

(申込者には、後日資料等をメールでお送りします。)